



聴す

埼玉医科大学総合医療センター 緩和医療科・呼吸器外科
儀賀 理暁

2025年2月27日、永野芽郁さんと佐藤健さんが共演する実写映画『はたらく細胞』が、動員462万人、興行収入62億円を突破したとの報道がありました。武内英樹監督の作品のみならず、ワーナー・ブラザーズ配給の邦画作品でも歴代1位とのこと。その魅力は様々に語られていますが、細胞たちの仕事や生活の場として描かれる世界観（人体）の中で懸命に生きる彼らの“声が聴こえる”ことが大きいように思います。

母の胎内でたった一つだった受精卵が細胞分裂を重ね、その数約37兆¹⁾となった細胞たちによって、私たちの身体は構成されています。この星の人類の数（約82億人：2024年²⁾）よりもはるかに多い細胞一つひとつが、あるべき場所、形、大きさを守り、期待された役割を果たすが故に、今、ここであなたは私の文章を読んで下さっているのです。何をもってしても等価交換することの叶わない、たった一人の“わたし”を支える37兆の奇跡。大切じゃない“わたし”なんて一人もないことを、改めて実感します。

細胞の内外には、その膜の特性によって電位差（静止電位）があります。外と比べて内がマイナス、例えば神経細胞はおよそ-70mVです。ここに刺激が加わると、膜にあるNa⁺チャネルが開き、濃度および電氣的勾配を推進力にNa⁺イオンが細胞内へと流入。これをきっかけに電位が変化し、静止電位より15mV以上高くなると活動電位（スパイク、インパルス、発火等とも呼ばれる）が生じます。この活動電位こそが、生物の情報伝達の正体です。狭義の音の定義は「耳に届く疎密波（空気の震え）」ですが、空気の震えが耳に届いただけでは音にはなりません。鼓膜が揺れ、耳小骨が揺れ、リンパ液、そして有毛細胞が揺れて放出された神経伝達物質によって聴神経終末部に活動電位が生じ、それが脳の聴覚中枢に到達してはじめて、私たちは音という認識をもつことが叶うのです。ウィーンフィル史上初の女性コンサートマスターのビブラートも、寄せては返す穏やかな波も、木々を揺らす爽やかな風も、目に入れても痛くない孫の笑い声も、大切な人の優しい息づかいも、聴覚中枢に届くときは電氣的なインパルスに過ぎません。

でも……。

忙しさを言い訳にはしたくないけれど、「今度一緒に演奏してね、オカリナならできるかな」と願う貴女に楽器を届けた日、病に侵された身体にとってはたった350gを手にとること

さえもすでに難しくなっていた。その数日後、長いながい闘病生活を経て空色の好きな貴女は夏の風になる。僕の中で、少し前、リクエストに応じて病室でハモリながら締めくくったディズニーの名曲の最後のフレーズが静かに繰り返された。夢をあきらめ、恋をあきらめ、普通をあきらめ、そして年の単位で歌をあきらめていた貴女の声は治療の影響もあってかすれていたけれど、そのときそこはあなたとわたしにとって間違いなく“a whole new world³⁾”だった……。

もう彼女の吐息がオカリナを震わせることはありません。でも、私の中にある声が、存在が、ないはずのインパルスを音に、ないはずの音を音楽に、ないはずの音楽を宝物にしてくれたのでしょうか。

『空色のオカリナ』

きみのその手では
たぶん持ちあがらない
きみのその息では
たぶん音にならない
でも
それでも
きみのその目は
静かな涙にあふれ
ぼくのこの耳は
空色の音にみたされる

わたしを奏でるのではなく、あなたを“きく”ことを願う音楽は、体験を経験にしてくれます。あなたがわたしを“ゆるす”とき、わたしがあなたを“ゆるす”とき、“きく”は微かに成立するのかも知れません。

“聴す”は“ゆるす”と読むそうです。

1) Eva Bianconi, Allison Piovesan, Federica Facchin, et al., An estimation of the number of cells in the human body, Ann Hum Biol, Early Online: 1–11. 2013

2) <https://www.un.org/sustainabledevelopment/blog/2024/07/press-release-wpp2024/>

3) Alan Menken, Sir Timothy Miles Bindon “Tim” Rice, A Whole New World. 1992

第25回 日本音楽療法学会学術大会へのいざない LISTEN



第25回日本音楽療法学会学術大会
大会長 吉村奈保子

私たちは、どれほど多くの音楽やことば、そして心に耳を傾けてきたでしょう。
声にはならない心の歌声、わずかに動くその指先から響くチャイムの音色、
その瞬間に立ち会えた時、私たちの音楽療法は輝きはじめます。

第25回日本音楽療法学会学術大会は、9月5日（金）～ 7日（日）の3日間、つくば国際会議場で開催されます。音楽と人の温かいつながりに満ちた場を、皆さまと共有できるその日を楽しみにしながら、ただいま準備を進めております。

〔感じる・知る・理解する機会を〕

5日の対面講習会では、体験的に学べるワークショップとして、12のワークショップを企画しました。表現としての自分の身体（声）への気づきを得る、魅力的なリズム奏法でリズムの奥深さに触れる、エピソード記述（心について考えるための質的研究）、事例と体験から学ぶボニー式 GIM などなど、沢山の感じる・知る・理解する時間を提供します。

オンデマンド講習会は、「音楽療法の多様なアプローチ」をテーマとして、10講座を企画しました。ノードフ・ロビンス音楽療法、分析的音楽療法、オルフの楽器と音楽について、クライアントの「したい」を Listen し「できる」にするための音楽療法における ICT（情報通信技術）活用、アクセプタンス&コミットメント・セラピー（オンデマンド受講後に対面ワークショップ受講）の理論と体験などです。また、海外講師として、コロラド州立大学音楽学部教授で音楽療法科コーディネーターの Blythe LaGasse（ブライス・ラガッセ）氏に、神経学的音楽療法にも触れながら、自閉スペクトラム症児童を対象とした音楽療法の神経発達のアプローチについてご講演いただきます。これら多様なアプローチを含め、まだまだ紹介しきれない講座の詳細については、ぜひ大会ホームページおよび SNS 等にてご確認ください。オンデマンド講習会の Web 配信期間は9月1日（月）から30日（火）です。

〔日々の実践に新たな気づきを〕

開会式では、シルバーアニバーサリーに際し、全国で行われた第1回学術大会から第25回までの学術大会のあゆみ（昭和な表現ですが）を動画で紹介します。テーマ「新世紀にはばたく音楽療法」から始まった大会にインスパイアされて今の私たちがいます。

基調講演は、音楽社会学者の Tia DeNora（ティア・デノーラ）氏です。タイトルは「音楽社会学の視点から見た音楽療法—Care for Music（音楽に心を寄せるということ）—」、聴かれざる声に耳を傾ける、音楽はそもそも社会的なもの、というお話を伺う貴重な機会となります。9月1日（月）からオンデマンド配信となりますのでお見逃しなく。

特別講演は、本田秀夫氏をお招きし「ASD（自閉スペクトラム症）のこころを聴く～障害をどのように捉えるのか～」についてお話しいただきます。

市民講座は、より多くの方々に音楽療法を知って頂く機会として企画しました。講師は2024年度第3期オンライン研修・講習会の講師をされた脳科学者の恩蔵絢子氏、「脳科学から見た認知症～ご本人の気持ちを聴くためにできることはなにか」のタイトルでお話しいただきます。

演題発表（口演発表、ポスター発表、自主シンポジウム、公募ワークショップ）は、すべて対面のみで行います。特に口演発表は20分と40分の時間枠を設定しました。発表者とオーディエンスの双方向のやり取りは、励ましや共感、新たな知見を得られる機会となるでしょう。また、事例研究と事例報告の二つの募集区分を設定しました。演題発表を研究と報告を分けることで、事例を通じた研究の深まりと実践への可能性が広がることを願っています。

大会企画シンポジウム「レジェンドたちの声を聴く」は、私たち音楽療法士に多大な学びの機会と影響力をもたらし、気づきを与えて下さったレジェンドからのメッセージを、ぜひ皆さまにお伝えしたい、そんな思いを込めた企画です。シンポジストとしてご登壇頂くのは遠山文吉氏、貫行子氏、松井紀和氏、村井靖児氏（五十音順）の4名です。大会テーマ「LISTEN」に寄せ「対象者が教えてくれたこと」、「私にとって音楽療法とは」などについて、インタビュー形式でお話しを頂く予定です。なお、ご登壇に際しては、ご健康への配慮を最優先に考え、動画によるメッセージも考えています。こちらも詳細は大会ホームページおよび SNS 等にてご確認ください。

さらに、未来への羽ばたきを応援する「学生企画」や各支部の登録団体との交流スペース、そしてテーマを持ち寄り語り合う「小部屋企画」、ランチタイムを活用した公募枠「ランチタイム・パフォーマンス」の心弾むステージなど、多彩な場も用意しております。

つくば国際会議場の開放的な空間に、学びと対話が響き合うひとときが皆さまを待っています。出会いの喜びあふれる学術大会に、ぜひご参加ください。



Instagram



Face book



X



■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会
委員長 藤本 禮子

日本音楽療法学会は様々な事業を行っております。その全ての事業の延長線上に、日本音楽療法学会創立以来24年間取り組んできた「音楽療法士の国家資格化」があります。音楽療法士の国家資格化は「音楽療法を必要とする全ての人々に、質の担保された音楽療法を届け続ける為」に必要不可欠な事業です。この重要な仕事は、現学会員である私たち全員に任されています。当委員会は皆様の力を、エネルギーを担って活動を続けています。

以下に学会ニュース第48号以降の国家資格推進委員会の主たる活動を、1. 国家資格化に向けた国会議員等への働きかけ 2. 国家資格化情報の共有の活動 3. 音楽療法の社会的認知を進める活動 に分けて報告いたします。

1. 国家資格化に向けた国会議員への働きかけ

- 2024年11月27日 佐々木さやか参議院議員（当学会顧問、「音楽の力を活用して活きる力を支援する議員連盟（以下略称 音楽支援議連）」事務局長）と参議院会館で会見しました。藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長、二俣泉副理事長が出席し、持参資料「音楽でつなぐ専門家」の国家資格—音楽支援士（仮称）に関する法整備のために一を基に、話し合いました。佐々木議員から、掲載されている事例はわかりやすいが「つなぐ」という視点での事例が必要ではないか、と提案されました。
- 12月5日 野田聖子衆議院議員によるセミナーが帝国ホテルで開催されました。藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長が参加し「音楽支援士（仮称）」の国家資格化への協力をお願いしました。
- 12月10日 秋野公造参議院議員（当学会顧問、「音楽支援議連」幹事長）と参議院会館で会見しました。藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長、二俣泉副理事長が出席し、2025年9月の当学会学術大会シンポジウムなどについての話し合いを行いました。
- 2025年2月10日 国光あやの衆議院議員（当学会顧問、「音楽支援議連」事務局次長）による特別シンポジウム「激動の国際情勢における日本外交・平和構築の未来」が、つくば学園都市で開催されました。藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長、吉村奈保子理事（第25回日本音楽療法学会学術大会会長）他、多数の学会員が参加しました。音楽療法のご理解と「音楽支援士（仮称）」の国家資格化への協力をお願いしました。
- セミナー後、在日ウクライナ人チェロ奏者により数曲のウクライナ曲が演奏され、最後に「故郷」を会場全員で合唱しました。
- 2月27日 秋野公造参議院議員と藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長、二俣泉副理事長が参議院会館で会見し、「音楽支援議連」の開催をお願いしました。秋野議員は了承され、法制局からの質問に可能な限り早く返答すること、また国家資格化された際に必要なカリキュラムなどの検討を始めるように提案されました。
- 3月24日 上川陽子衆議院議員（当学会顧問、「音楽支援議連」会長）によるセミナーが都市センターホテルで開催され、上川議員の法務大臣として、外務大臣としての取り組みなどが話されました。藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長が参加し、「音楽支援士（仮称）」の国家資格化の推進をお願いしました。
- 4月2日 秋野公造参議院議員と藤本禮子理事長による電話会談が行われ、法制局への回答を作成したことをお伝えし、9月に予定されている当学会学術大会でのシンポジウム、「音楽支援議連」の開催などについて話し合いました。
- 4月4日 法制局からの質問への回答書を法制局に提出しました。

2. 国家資格化情報共有の活動

- 2025年3月16日 国家資格推進委員会にて、音楽療法士の国家資格化の進捗状況を報告しました。また第25回日本音楽療法学会学術大会中に開催予定の「国家資格化は今！-7-」のテーマ、内容などについて話合われました。

3. 音楽療法の社会的認知を進める活動

- 2025年3月15日 小林修三氏（当学会顧問 医師）を大会長とする「第15回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会」がパシフィコ横浜会議センターにて開催され、藤本禮子理事長による特別講演「音楽療法の重要性と今後の展望～リハビリテーションと音楽療法～」、二俣泉副理事長（座長）、上羽由香理事、木下容子理事、近藤真由監事によるジョイントシンポジウム「患者中心のリハビリテーションにおける音楽の意義：音楽療法のエビデンス」が行われました。
- 4月11日 松本吉郎日本医師会会長を藤本禮子理事長、猪之良高明副理事長、二俣泉副理事長、吉田勝明理事が訪問しました。音楽療法に関する資料を基に音楽療法士の現状、必要性などをお話し、「音楽支援士（仮称）」の国家資格化への理解・協力をお願いし了解されました。会見は日本医師会館で行われました。

以上、国家資格推進委員会から活動報告をいたしました。

冒頭で述べましたように、音楽療法士の国家資格化は「音楽療法を必要とする全ての人々に質の担保された音楽療法を届け続ける為」に必要で重要な事業です。

この偉大な事業に直接かかわれるのは私たち会員だけです。即ち学会員である私たちに、この偉大な仕事が任されているのです。益々力を結集し、進もうではありませんか。

■ 日本音楽療法学会 2025年度研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会
委員長 米倉 裕子

寒暖の差が激しい昨今ですが、今年は例年に比べて長い間桜の花を楽しむことができ、学び続ける民である音楽療法士の皆さまも春の訪れを満喫されたことだと存じます。皆さまの気持ちも新たに健やかにお過ごしであることを願いながら2025年度の研修・講習会のご案内をさせていただきたいと思います。今年度の学びのテーマは、『守破離 in music therapy』です。守破離（しゅはり）とは、現在では様々な場面で使われている言葉ですが、何かの技術を習得する過程を3つの段階に分けるという考え方のようです。一つ一つの漢字をみると、読んで字の如く、「守」は、正確な基本を守りしっかりと身につける段階、「破」は、身につけた基本を基にして実践・応用をする段階、そして「離」は、それらの経験を基にして自分のスタイルを確立していく段階、といったような説明がされているものを多く目に致します。この守破離の考え方は音楽療法の学びにも当てはまるのではないだろうか、というのが今年度のテーマのコンセプトです。例えば、基本をしっかりと学び（守）、クライアントそれぞれに合わせた柔軟なアプローチでセッションを展開し（破）、そして最終的には独自のスタイルで実践をしていく（離）、といったイメージです。

今年度実施予定の研修・講習会は、この守破離の考え方に則って、それぞれに「ベーシック」「アドバンス」そして「オープン」の3つでカテゴライズした講座を発信していく予定です。「ベーシック」枠は、基礎的な内容、音楽療法の経験はまだこれからという受講生の方に知っていただきたい内容を中心とした講座で守破離の「守」の枠、「アドバンス」枠は、ある程度音楽療法の臨床経験を積まれた受講生の方向けの内容で守破離の「破」の枠、というイメージです。しかしながら、このカテゴライズはあくまでも目安であって、受講生の方の選択の自由を制限するものではありませんので、興味のある研修・講習を自由に受講していただければと考えております。ちなみに「オープン」枠は、どなたにでも聞いていただきたい講座としての位置付けです。今年度も初代理事長日野原重明先生の理念である“keep on going”に則りまして、研修・講習委員メンバー一丸となり、音楽療法士にとって血となり肉となり得る学びの喜びを、皆さまと一緒に共有していくことができればと考えております。どうぞ、よろしくお願い致します。

今回ご案内させていただきます2025年度の研修・講習におきましても「オンライン枠」と「現地対面型枠」をバランス良く実施していく予定です。毎年第1期のオンライン枠では、昨年度の日野原賞を受賞された先生にご講演をいただいておりますが、今年度も昨年度受賞された山下薫先生のご講演「音楽を用いた安全な歯科治療環境の構築を目指して」を予定しております。また、オンライン枠では、今年度から新しく「資格更新指定講座」の配信が始まります。今後、日本音楽療法学会の認定音楽療法士として資格更新を目指す方は、学会が配信する「資格更新指定講座」の中から5年間の資格有効期間に2講座以上を受講し、資格更新申請時に受講証を添付することが必須条件となります。今年度「資格更新指定講座」として配信される予定なのは、「倫理講座」と「知的財産権基礎講座」の2講座です。第1期では、昨年度配信した講座の再配信、第2期と第3期では「倫理講座 2025年度最新版」（仮題）と「知的財産権基礎講座 2025年度最新版」（仮題）のオンデマンド配信を計画しております。資格更新を考えている学会員の方は、ご自身の資格更新時期と照らし合わせながらご自分のタイミングで受講されてください。詳しくは学会ホームページの資格更新委員会による「2025年度 資格更新指定講座について」をご覧ください（2025年度「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」の配信時期につきましては、次頁の実施計画の案内にてご確認ください）。

学術大会研修・講習会本部枠におきましては、例年受講生の皆さまに自分自身をじっくりと見つめる機会を持っていただけるような内容のワークショップを2枠連続で実施させていただいております。今年度第25回つくば国際会議場で9月5日に開催される予定の本部枠の講座では、「間（あわい）に在る命の響きあいを考える—music therapists の mission とは？—」というタイトルで、緩和ケアの現場をモデルケースとして Music Therapist の mission について受講生同士のワークを中心とした講座を僭越ながらこの記事を書かせていただいております米倉が担当させていただくことになりました。Music Therapist 同士の繋がりを感じたい方は是非ご参加いただければと思います。

昨年度は西日本で開催いたしました「現地対面型連続講座」ですが、今年度は場所を東日本に移動いたしまして、昭和音楽大学のキャンパスをお借りして2026年2月1日に実施の予定です。詳細につきましては、次号の学会ニュースで詳しくお伝えする予定です。全国の皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

2025年度も学び続ける民・音楽療法士の皆さまには、少しでも学びの喜びが明日の臨床に生かされます様に、今後も引き続き学びの計画と実施を推進していきたいと考えております。今年度も何卒よろしくお願い致します。

I 2025年度「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」実施計画

第1期：2025年6月2日（月）～2025年8月29日（金）配信予定

□2025・1st.・00-1・新作

「音楽療法研究」・「オープン」

タイトル：第4回日野原賞受賞記念講演：「音楽を用いた安全な歯科治療環境の構築を目指して」

内 容：歯科治療は聴覚ストレス、疼痛、不安、緊張による自律神経活動の変動から、異常高血圧や血管迷走神経反射などの全身的偶発症を引き起こす可能性のある医療行為です。全身的偶発症発症の一因と考えられている歯科治療中の不安や緊張の軽減を目的として、臨床では音楽が広く使用されていますが、音楽が生体に与える影響については、未だ不明な点も多いです。我々は、音楽を用いた安全な歯科治療環境の構築を目指して「歯科治療時の音楽聴取が自律神経活動に与える影響」について研究を行ってきました。本講演では、これまでの研究成果を紹介しながら、医療における音楽の有用性について、会員の皆様と考えていきたいと思います。

講 師：山下 薫 氏

プロフィール：



鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 顎顔面機能再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野 講師。鹿児島大学 研究准教授。日本歯科麻酔学会専門医。日本障害者歯科学会認定医指導医。日本口腔顔面痛学会認定医。

□2025・1st.・00-2・再配信〔資格更新指定講座〕

「倫理・知的財産権基礎講座」・「オープン」

タイトル：第1講：「倫理講座」

内 容：倫理綱領および倫理ハンドブックを題材にした講座

講 師：村林 信行 氏

プロフィール：



医療法人社団信俊会 心療内科アーククリニック大崎院長

□2025・1st.・00-3・再配信〔資格更新指定講座〕

「倫理・知的財産権基礎講座」・「オープン」

タイトル：第2講：「知的財産権講座」

内 容：著作権を含む音楽療法士として必要な知的財産基本法、知的財産権の知識習得のための講座

講 師：延増 拓郎 氏

プロフィール：



日本音楽療法学会顧問弁護士

※「倫理・知的財産権基礎講座」を受講する方は、第1講と第2講を連続して受講してください。

※「倫理・知的財産権基礎講座」を受講する方は、テキスト：『日本音楽療法学会 倫理ハンドブック』を事前にご用意ください。

◆オンライン研修・講習会 視聴料

1本 一律2,500円 申込本数の制限はありません。また、視聴期間内であれば何度でも視聴いただけます。

◆申込み方法

- ・動画の申込み、視聴には「マイページ」の作成が必須です。（※会員ポータルサイトのご自身のページとは違います。）学会ホームページの「オンライン研修・講習会」からお入りいただき、【マイページの作成・ログインはこちらから】ボタンから会員（非会員も）ご自身で作成ください。
- ・一度作成した「マイページ」は以後も引き続き使用できます。1人につき1マイページを作成してください。

◆受講ポイントについて

オンライン研修・講習会の取得ポイントは動画視聴1本につき、「認定申請：2ポイント」「更新申請：2ポイント」です。

◆オンデマンド視聴に関する遵守事項

いかなる方法においても「配信動画」の録画・録音、また資料等の登用は法律で禁止されております。ご注意ください。

第2期：2025年10月1日（水）～2026年1月5日（月）配信予定

詳細が決まりましたら学会ホームページにてお知らせいたします。

第3期：2026年1月8日（木）～2026年3月31日（火）配信予定

詳細が決まりましたら学会ホームページにてお知らせいたします。

※オンライン研修・講習会の講座内容についてのご質問は受けつけておりません。

Ⅱ 2025年度「現地対面型：研修・講習会」実施計画

1：第25回学術大会研修・講習会本部企画（2枠連続研修：1会場）

日程：2025年9月5日（金）

場所：つくば国際会議場

◆申し込み方法など、詳細につきましては、第25回学術大会の案内およびホームページをご覧ください。

2：2025年度「現地対面型研修・講習会」

日程：2026年2月1日（日）

場所：昭和音楽大学

◆申し込み方法など、詳細につきましては、決まり次第学会ホームページにてお知らせする予定です。
※ご注意：対面による研修・講習会は、感染症等の状況により、延期または中止になる場合があります。
※都合により、一部講師・内容の変更が生じることがあります。ご了承ください。

様々な学びの場で皆さんにお会いできますのを楽しみにしております（研修・講習会委員 一同）

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

E-mail: jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com

支部ホームページ: <http://www.jmta-h.jp>

【支部役員】

任 期: 2022年4月～2025年3月

支部長: 近藤里美 副支部長: 長谷部夏子 事務局長: 下出理恵子

※2025年度～2027年度任期の評議員選挙実施予定のため、支部役員が変更となる場合があります。

◎第45回 北海道支部大会のご案内

開催日時: 2025年6月28日（土）10:00～16:00

開催場所: 北海道医療大学サテライトキャンパス（札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階）

内容: 演題発表、総会

講演とワークショップ

「ミュージックカウンセリングの理論と実際」

「音楽心理療法を実践する上で自分を知ることの意義」

講師: 猪狩裕史 先生（名古屋音楽大学音楽療法コース教授）

なお、詳細につきましては随時支部ホームページにてご案内しますのでご覧ください。

§ 東北支部

【事務局】

〒988-0261 宮城県気仙沼市本吉町後田137-2 佐藤方

E-mail: jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

支部ホームページ: <https://jmtathhp.wixsite.com/jmta-tohoku>

【支部役員】

任 期: 2023年4月～2027年3月

支部長: 高山 仁 事務局長: 佐藤香里

◎東北支部講習会を2025年1月19日（日）2コマ連続として Zoom で開催しました。

「研究の意義 臨床経験をワークしよう」をテーマに、3名の講師より臨床経験及びその研究についてご講演いただき、その後3領域のブレイクアウトルームに分かれてワークを行いました。グループワークでは、領域別に少人数での対話の中で議論が深まり、有意義な学びの時間になった等の感想が寄せられました。

◎第25回東北支部学術大会のご案内

開催日時: 2025年6月29日（日）10:20～15:45

開催方法: Zoom によるオンライン開催

大会テーマ: ヒトが「音楽する」こと

大会内容: 講演Ⅰ 音楽神経科学の観点から考える音楽の「ちから」

講演Ⅱ 藤井先生とともに学ぶ、脳科学から音楽療法へ～対話形式演習～

講 師: 藤井 進也氏（慶応義塾大学環境情報学部准教授）

※他支部会員の皆様もご参加いただけます。詳細は東北支部ホームページをご覧ください。

◎東北支部では現在、2026年度開催の第26回日本音楽療法学会学術大会の準備を進めております。

§ 関東支部

【事務局】

〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミサポートハウス内

TEL: 0276-55-6344 FAX: 0276-55-5022

E-mail: mtkanto@jmta-kanto.jp

支部ホームページ: <http://www.jmta-kanto.jp/>

開設時間: 平日(火～金) 11:00～15:00

【支部役員】

任期: 2023年4月～2026年3月

支部長: 小柳玲子 副支部長: 平野夏子 事務局長: 大島美知恵

◎第22回 関東支部地方大会(山梨)が開催されました

2025年3月2日(日)に山梨県立図書館(山梨県甲府市)にて関東支部地方大会(山梨)が開催されました。

「見つけよう他職種との連携で成功する鍵を～音楽療法士がリーダーシップを発揮するためには～」のテーマのもと、大会長講演、特別講演、研究発表、分科会などが行われ、盛会に終了致しました。

◎第23回 関東支部地方大会(茨城)のご案内

開催日時: 2026年3月15日(日)

会場: つくば国際会議場エポカルつくば

大会長: 高橋多喜子(音楽療法 R&D センター・センター長)

基調講演: 山中克夫先生(筑波大学人間系障害科学域准教授)

大会テーマ: 「音楽療法の未来」

対面とオンデマンドのハイブリッド型で計画しております。

大会内容: 大会長講演/基調講演/シンポジウム/研究発表など

◎2025年9月5日～7日開催予定の第25回日本音楽療法学会学術大会に向けて、本格的な準備が進んでおります。多くの皆様に参加いただけるよう様々な工夫を企画中です。学会ホームページ、SNSにて随時、情報発信しておりますので、是非、ご覧ください。

§ 信越・北陸支部

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神2-4-53 ジオグラントドエル602号

E-mail: mt.office2020@gmail.com

支部ホームページ: <https://mtoffice2020.wixsite.com/jmtash>

【支部役員】

任期: 2022年4月～2026年3月

支部長: 近藤清彦 副支部長: 宮本啓子 事務局長: 高橋和奈枝

◎能登半島地震対策特別委員会により講習会開催

2024年12月1日(日)に本多の森会議室にて能登半島地震対策特別委員会主催による講習会が開催されました。「熊本地震の経験から伝えたいこと～被災地の音楽支援について考える～」のテーマのもと、池田憲治氏の講演と宮本啓子氏による報告が行われ、次回の支部大会に繋がる学びとなりました。

◎第22回信越・北陸支部学術大会・講習会(石川)のご案内

開催日時: 2025年6月22日(日)

会場: 金沢勤労者プラザ(石川県金沢市北安江3-2-20) JR 金沢駅西口より 徒歩10分

開催方法: 現地開催及びオンデマンド配信

大会テーマ: 「復興・復幸と共に～人に寄り添える音の力～」

大会長: 佐藤順子氏

大会内容: ワークショップ 網川淳美氏(東京交響楽団ティンパニー・パーカッション奏者)

講演 宮本啓子氏(NPO 法人日本ミュージック・ケア協会理事長)

市民公開講座 池田憲治氏(介護老人保健施設フォレスト熊本)

シンポジウム コーディネーター 池田憲治氏「復興・復幸と共に～人に寄り添える音の力～」

§ 東海支部

【事務局】

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町 1-109 大垣女子短期大学 菅田文子研究室

E-mail: jmta.tokai@gmail.com

支部ホームページ: <https://jmta-tokai.net/>

【支部役員】

任 期: 2024年 4月～2026年 3月

支部長: 渡辺恭子 副支部長: 伊藤孝子 事務局長: 菅田文子

東海支部では2025年 3月23日に東海支部大会を、静岡英和学院大学（実行委員長山田美代子氏）で、開催し、150名（会員60名、一般90名）の参加がありました。テーマは『環境・アクション・そして少し世界が変わるなら……』で、基調講演として、静岡英和学院大学長 永山ルツ子氏をお招きし、『認知心理学分野における知覚・記憶研究と音楽との関連性について』というタイトルでご講演頂きました。また、「THE 合唱団」&河本・里見のぞみ氏（作業療法士、マイムアーティスト）によるパフォーマンスと講演、「かしだしたけし」&久保田翠氏（認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ理事長）による講演が行われました。また、ポスター発表による研究発表も実施しました。支部大会終了後には、会員集会も開催しました。

その他に、ニュースレターも 2 回発行し、郵送で支部会員にお届けしました。

2025年度は、東海支部紀要の発刊年にあたっていますので、準備を進めています。また、次期13期役員の選挙を実施する予定です。前は郵送とオンラインのハイブリットによる選挙でしたが、今回は完全オンラインでの選挙を予定しています。ホームページの選挙ページにログインして投票（ホームページは2024年度までに改修済み）します。有権者名簿訂正や被選挙権放棄申告などもホームページの選挙ページから行えるように整備しました。前述の活動を中心に、2025年度も円滑な支部運営に努力して参ります。

§ 近畿支部

【事務局】

〒617-0823 京都府長岡京市長岡 1 丁目13-9 NPO 法人こらぼねっと京都内

E-mail: jmtak@guitar.ocn.ne.jp

支部ホームページ: <http://www.jmtak.com/>

【支部役員】

任 期: 2023年 4月～2027年 3月

支部長: 伊藤美恵 副支部長: 那須貴之 事務局長: 佃誉子 事務局次長: 岩井澤奈巳

◎第24回近畿学術大会について

詳細が決まり次第、近畿支部ホームページ（<http://www.jmtak.com/>）に掲載いたします。

◎近畿音楽療法学会誌のご案内

2025年 3月に『近畿音楽療法学会誌 Vol.23』を発行しました。

2001年度より毎年発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会講習会の概要、ラウンドテーブルの報告記事、近畿支部活動記録を掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問合せください。アカデミア・ミュージック webshop（<https://www.academia-music.com/>）からもご購入いただけます。

§ 中国支部

【事務局】

〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町 1-4-5-302

E-mail: jimukyoku.jmtacc@gmail.com

支部ホームページ: <https://jmta-cc.org/>

【支部役員】

任 期: 2022年 6月～2026年 5月

支部長: 武田千代美 副支部長: 岩永誠 事務局長: 石井明子

中国支部は、去る 3月 9日（日）に広島県福山市の福山商工会議所において、LSC 第12回講習会を開催しました。「なぜ

事例報告を書くのか」について考える講習会をシリーズ化し、前回と同じ内容で学びを深める試みとなりました。自分の実践についてまとめる、事例報告の形にする、同じ仲間どうし意見を出し合って共有するなど、一連の作業を通して多くの学びがあり、充実した会となりました。

第23回支部大会ならびに第29回講習会は、岡山市において、6月28日、29日の両日開催されます。テーマは「未来へつなぐ音楽療法～医療福祉発祥の地、岡山から～」とし、医学や福祉の先駆者の思いを知り、今に活かし、未来の音楽療法について共に考え、学んでいきたいと思ひます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

詳しくは中国支部ホームページをご覧ください。

§ 四国支部

【事務局】

〒782-0038 高知県香美市土佐山田町秦山町2-1-1 尾立方

E-mail: sikoku.mt@gmail.com

支部ホームページ: <https://jmta-shikoku.org>

【支部役員】

任 期: 2022年7月～2026年6月

支部長: 岩永十紀子 副支部長: 川東伸江 事務局長: 尾立真紀

◎支部講習会が開催されました。

日 時: 2025年3月30日(日) 9:00～12:20 Web開催(Zoom)

内 容: 「根拠ある音楽療法を実践するために③ モデルケースをもとに目標設定と活動の組み立て方を学ぶ」

講 師: 吉村奈保子氏(国際音楽療法専門学院 学部長)

◎第20回四国支部学術大会が開催されます。

開催日: 2026年1月11日(日)

会 場: 聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス(愛媛県松山市)

大会テーマ: 「第20回大会を迎えて 今、必要とされる音楽療法とは？」～社会に貢献できる可能性を探る～

大会長: 川東伸江

講 師: 白柿 綾氏(聖カタリナ大学)

松本佳久子氏(武庫川女子大学)

今年度の大会は、対面のみでの開催となります。

§ 九州・沖縄支部

【事務局】※2025年より、日本音楽療法学会九州・沖縄支部事務局が移転しました。

〒869-1221 熊本県菊池郡大津町陣内1165 医療法人田中会 介護老人保健施設おつかの郷

TEL: 096-363-0101 FAX: 096-363-3363

E-mail: jmta9oki@gmail.com

支部ホームページ: <https://jmtakyuokimt.wixsite.com/music>

【支部役員】

任 期: 2025年4月～2028年3月

支部長: 土野研治 副支部長: 池田憲治 事務局長: 和田玲子

日本音楽療法学会九州・沖縄支部では、昨年度に役員選挙が行われ、2025年度新役員が選出されました。これから3年間の支部運営を担わせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

日本音楽療法学会九州・沖縄支部長 挨拶

この度九州・沖縄支部長に選任されました土野研治です。福岡県糸島市に転居したため関東支部から九州・沖縄支部に移ったばかりで、支部の事情もよく分からずにお引き受けしてよいものか迷いましたが、役員各位のお薦めもありお引き受けしました。九州・沖縄支部はこれまで独自性の強い支部だという印象を持っていましたが、2月の講習会に参加して温かな雰囲気を感じることが出来ました。新体制として和田事務局長、池田副支部長のサポートを得ながら事務作業の効率化を図り、九州・沖縄支部がより充実していくように努めたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

土野研治

役員

支部長	土野研治	副支部長	池田憲治
事務局長	和田玲子	事務局員	立山真由美
事務局員	遠山沙希	事務局員	後藤祐子
教育倫理	山下恵子	教育倫理	小林真寿子
監査	米倉裕子	監査	村橋和子
相談役	高江洲儀英		

《日本音楽療法学会 九州・沖縄支部 2025年度大会》

日 時：2025年5月25日（日） 10：00～16：00
場 所：熊本城ホール（熊本県熊本市中央区桜町3番40号）
参加方法：①現地参加 ②アーカイブでの参加
参加費用：3,000円（各①、②同額）
内 容：午前 研究発表
午後 講演会
講 演 名：音楽と精神性 ～音楽体験を用いた意味中心療法～
講 師：北脇 歩（同志社女子大学 学芸学部音楽学科 准教授）

《2025年度講習会》

日 時：2025年10月19日（日）開催時刻は、決まり次第改めてご案内します。
場 所：リファレンス大博多ビル（福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目20-1）
参加方法：現地参加
参加費用：2,000円
講 演 名：こころの内側を聴く～臨床家的な音楽聴取の試み～（仮）
講 師：竹内貞一先生（東京未来大学こども心理学部）

※最新の情報は、日本音楽療法学会九州・沖縄支部ホームページでご確認ください。

学会事務局からのお知らせ

■ 第26回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日 程：2026年9月19日（土）、20日（日）
 - 会 場：仙台国際センター
 - 大会長：高山仁 実行委員長：植木亜弓 副実行委員長：佐藤久美 事務局長：佐藤香里
 - 大会テーマ：「あなた…、そして私も音楽になる」
 - 講習会テーマ：「これからの四半世紀、音楽療法の深化を求めて」
- ※大会案内は順次お知らせします。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2025年度新年度が始まりました。年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。なお、会員ポータルサイトの導入にともない、クレジットカードでのお支払いが可能となりました。是非ご活用ください。

正 会 員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円

払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会 口座番号：00120-9-657711

※郵便局備え付け払込用紙や、インターネットを介して振込まれる場合は、通信欄等にお名前、会員番号、年会費である旨をご記載いただきますようお願いいたします。

■ 入会案内パンフレット取寄せについて

会員の方は、学会の入会案内パンフレットを20部まで無料でご請求いただけます。学会ホームページ上のお問い合わせ欄、もしくはFAX・郵送にて必要部数を明記の上ご請求ください。送料や返信用封筒の送付は不要です。なお、学会ホームページ上、「各種刊行物」ページ内にデータが掲載されておりますので、ご自身でダウンロードし、印刷することも可能です。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択いただき、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会ホームページ「お問い合わせ」について

学会ホームページよりお問い合わせを受け付けております。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対 象 者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 2024年度認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2025年1月12日（日）に実施された2024年度音楽療法士（補）資格審査（筆記試験）の試験問題解説集が2025年7月に発行されます。該当試験受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外で購入を希望される方は「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

■ 各種取り寄せ資料の価格改定のお知らせ

印刷費・送料等の物価上昇により、各種資料の取り寄せ価格をこれまでの金額で維持することが困難になってまいりました。つきましては、2025年4月1日ご請求分より、下記のとおり価格の改定をさせていただきました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、会員番号、氏名、希望資料の内容を明記した封筒（例：認定規則書面接試験 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		2025年4月1日 からの新料金 (送料込)
認定規則書	必修講習会コース	600円
	面接試験	600円
	資格更新	600円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2011～23年度単年度版 ※希望年度を明記してください ※2001～2010単年度版は廃版となりました。	1,200円
	2006～10年度、2011～15年度、2016～2020年度 五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください ※2001～2005年度五ヶ年分合冊版は廃版となりました。	2,400円
その他	抄録の書き方	1,200円
	スーパービジョンの手引き	1,200円
	倫理ハンドブック	600円
	特別プロジェクト研究報告	600円
	音楽療法臨床ハンドブック	2,400円
DVD	音楽の力2012 ～音楽療法が拓く可能性～	1,200円
学会誌、学術大会要旨集、 学術大会講習会資料集 (2018年度～)	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんので下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 学会ご登録内容の変更について

●住所・連絡先・メールアドレス変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先、登録のメールアドレスに変更がある方は、会員ポータルサイト内にてご自身の登録情報の変更を行ってください。

●名義変更

名義の変更をされる方は、学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。会員ポータルサイトからは変更のお手続きはできませんのでご注意ください。

●会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。学会ホームページ上「各種手続き」の「各種変更」より専用フォームにてお手続きください。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、有効期限記載の確認できる学生証のデータ添付が必要となります。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

●音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など

手数料：500円

●音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含みます。

※3×4 cm の顔写真、現在をお持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 事務局員の異動について

退職1名 増田 道夫（2024年12月31日付）

採用2名 村岡 清美（2024年12月5日付）、鈴木 かい（2025年1月7日付）